

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。

各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに を付け、適宜その内容を記入すること。

「取組みの事実」は必ず記入すること。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名 グループホーム ヒロセ

(ユニット名) 2F つつじ

記入者(管理者)

氏名 羽藤 千春

評価完了日 平成 20年 6月 5日

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価)		
			「その人らしい生きがいのある心地よい今」を理念に掲げ、その人らしく生活していけるよう日々のケアと関連付けている。		地域住民に信頼され、いつでも安心して介護サービスを受けられる事業所を目指します。 利用者様の人権を尊重し、利用者様中心の介護を提供します。 地域福祉の向上を目指して職員の研鑽、研修に努めます。
			(外部評価)		
			法人の基本理念をもとに、事業所でも理念を作っておられる。		さらに、貴事業所が地域密着型サービス事業所として、地域の中でどのようなことを目指していくのかということについても、具体的に話し合わせてみてほしい。
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価)		
			いつでも思い起こせるように、ホール内に額を掲げている。 「和」と「誠意」をもって寄り添い、日々実践しながら取り組んでいる。		医療法人陽成会の基本理念『相手を思いやる「和」の心と、患者さんに「誠意」をもって接する』を基本に、毎日朝礼時挨拶の行動指針の実行に努めています。
			(外部評価)		
			職員の名札の裏に事業所の理念を明示し、職員個々が日常的に確認できるようにされている。又、朝礼時には職員で理念を唱和されている。		さらに、理念を実践につなげていけるような話し合いが期待される。
3		家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	(自己評価)		
			地区の代表の参加による運営推進会議又、家族会等でホームの取り組みをお伝えし、理念の実現に努めて実行している。		自治会や地域老人会との交流をして、グループホームの理念や役割を理解してもらうようにする。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 地域との支えあい					
4		隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 散歩時近隣の人との挨拶、保育所での園児さんとの交流を図っている。又、玄関前にベンチを設置し休憩できるスペースを設けている。		農作業の人々と会話をして、季節感のある話題で日常の付き合いを実施している。
5	3	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 近隣の国分寺・天満宮等に初詣・地方祭(みこし来訪)等実施。富田、国分地区自治会主催行事にも参加し地域交流活動を実施している。 (外部評価) 近隣の保育園では、利用者の方が散歩の途中に休憩できるよう、ベンチを置いて下さっている。又、保育園の園児達も事業所の中庭に遊びに来てくれる等、交流されている。又、自治会の井出掃除やお寺の草引き等に職員が参加されたり、自治会の会議時には職員が出席し、事業所の活動を報告されている。		季節にも配慮しながら小・中学生の下校時等、見守り隊と称し挨拶等行っている。
6		事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 地域貢献に向けて話し合い、地域の高齢者との交流の場又、介護者の相談場所等、声掛けなど活動的な機会を増やしていく。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 職員間で話し合い、評価項目を毎月の目標に取り入れ、具体的な改善に取り組んでいる。 (外部評価) 前回の評価結果をもとに、職員は振り返りをされ、その結果を踏まえて、主任が自己評価を作成された。前回の評価結果を受けて改善計画書を作成し、職員の研修の機会を増やされ、職員のレベルアップを図られた。又、毎月、自己評価項目の中から数点項目を取り上げ目標に定め、職員で意識して取り組まれている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの 実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価)		
			2ヵ月に1回の運営推進会議を行い、利用者様へのサービス向上に努めている。意見も伺っている。活発な意見も沢山出ている。		
			(外部評価)		
			会議時、事業所での活動の報告をされている。又、認知症について知識を深める話し合いや意見交換等も行われている。		
9	6	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	(自己評価)		
			居宅介護支援事業所のケアマネージャーと情報交換し、担当の市職員とも今以上に連携し、サービス向上に努めたい。		
			(外部評価)		
			運営推進会議に市の担当者へ出席いただき、意見交換をされている。		
10		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	(自己評価)		
			現在、財産管理運用に対する問題のある方はおられないが、勉強会を行いアドバイスができる状態を整えており居宅介護支援事業所と支援センターとの連携を確保し、いつでも支援できるように勉強している。		
11		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価)		
			日々の利用者様との関わりの中、職員間、物理的・精神的な差別を認識し注意を払い虐待防止に努めるケアに取り組んでいる。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
12		契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 利用者様の申し込み時・契約時等、時間をかけ説明を行い理解を得ている。重要事項説明書にて説明・同意を得ている。		
13		運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 苦情ノートに記録し、職員全員に周知徹底しサービスの改善に努めている。又、これらを陽成会の事務所へ報告するシステムになっている。職員としてできること、ご家族と協力することを検討し反映させている。		
14	7	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	(自己評価) 毎月の家族会・面会時等個々に合わせ近況報告をしている。健康状態についてはその都度報告し連携を図っている。職員の異動については面会時挨拶することで報告となっている。		
			(外部評価) 少なくとも毎月1回、ご家族の来訪があり、ご本人の日頃の様子を口頭で報告されている。又、毎月、家族会の日(ファミリーデー)を設けておられ、数人のご家族が事業所を訪れておられる。		さらに、ご家族が定期的に関心したい情報について、聞き取ってみてはどうだろうか。例えば、食事のことや職員の紹介、又、利用者の日頃の様子や事業所のケアへの取り組み等、ご家族の立場に立って、報告や便りを工夫されてみてほしい。
15	8	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 意見箱をホーム玄関前に設置し、いつでも投函できるシステムになっている。又、ホームの窓口と共に市町村等公的機関の窓口があることも明記している。家族会等で個々に伺っている。		
			(外部評価) ご家族の来訪時や電話で要望や意見をうかがうようにされている。又、家族会時に、運営推進会議で話し合われたことについて、報告をされている。		「お世話になっているのでこれ以上望んでは迷惑ではないだろうか」等のご家族の心情も踏まえて、意見や要望を引き出す工夫を重ねていかれることが期待される。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 介護老人保健施設との合同ミーティング、グループホーム独自のミーティングに於いて、意見交換を行う。 法人の運営委員会にて提案し運営者にも意見が届くようにしている。		
17		柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) 業務内容や状況により、適宜調整し対応している。対応できる体制を整えている。		
18	9	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 閉ざされたグループホーム防止の為に一部異動を定期実施している。ユニット間の交流を図り、利用者様の不安がないよう配慮している。又、全体を知る事や、質の向上を目指している。 (外部評価) 職員が異動して来られた際や新しい職員が入った際には、利用者に自己紹介をされている。		ユニット間の異動や新しい職員が入った際、利用者との関係作り等、信頼関係を作っていけるような取り組みが期待される。職員のチームワークを作っていけるような取り組み等も期待される。
5.人材の育成と支援					
19	10	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) グループホーム協議会東予地区研修・在宅介護支援センター研修・認知症研修などの研修に参加している。又、法人内病院関連施設等、合同ミーティング・報告会をして、ケアの向上に努めている。 法人内で行う資格取得の為にセミナー等にも参加している。 (外部評価) 母体法人での研修や事業所内でのミーティング、外部研修等にも積極的に参加されている。職員は、外部研修に参加し、リスクマネジメントの知識を深められ、事故再発防止への取り組みの大切さを感じておられた。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	<p>同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	(自己評価)		
			<p>東予地域での研修会に参加し、交流を図り意見・情報交換をしている。</p>		ネットワークづくり、勉強会等、活動を通じてサービスの質の向上を目指したい。
			(外部評価)		
			<p>市内のグループホームの集まりに参加されたこともある。又、県GH連絡協議会の研修に参加され、他の事業所とともに学ばれている。</p>		市内の他事業所とのネットワーク作りに向けての1歩すすめた取り組みが期待される。交流できるような機会を作り、意見交換されたり、協力し合えるような体制を作っていかれてはどうだろうか。
21		<p>職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	(自己評価)		
			<p>残業、時間外勤務をしないよう、お互いが協力し合い、残らなくてもすむような体制を整えている。介護老人保健施設と連携し、親睦会を行っている。</p>		
22		<p>向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	(自己評価)		
			<p>自己評価により、職員個々を把握し目標を持ち、自己研鑽に努め資格取得に励むよう促している。</p>		
<p>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</p> <p>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</p>					
23		<p>初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	(自己評価)		
			<p>入居時、利用者様と面接し十分相談・内容を聞いて受け取る努力をしており、又担当ケアマネージャー・ご家族との連携で、スムーズな入居となるよう努めている。</p>		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
24		初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 見学时・契約時等困っていること等、時間をかけ聞く機会をつくりご家族と信頼関係ができるよう努力している。		
25		初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 担当ケアマネージャーとも十分に話し合いを持ち、助言を受けながら入居対象者か否かを検討している。又、本人さんやご家族とも十分協議・相談して支援している。		
26	12	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) ご家族でホーム見学をして頂き、生活状態・雰囲気を理解した上で利用して頂く。 (外部評価) 入居前にはご本人・ご家族に見学いただいている。入居後も、お友達と手紙のやり取りをされている方もおられる。時々、ご自宅に戻り、泊られる方もある。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 生活歴をご家族に訊ねたり、自発的に行動できる場面づくりに努めている。 調理等生活面でも「人生の先輩」である利用者様と共に行い、教えて頂いている。 (外部評価) 調査訪問時、職員は、利用者から地元の郷土料理「いぎす豆腐」の作り方を教えてもらっていた。利用者は「作ってみたいね」と職員に話しておられた。		今後さらに、利用者との関係作り、又、利用者同士の関係作りへの支援が期待される。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) ホームでの生活状況・ご本人さん希望されている事等、家族会・面会時又、電話にてお伝えし情報を共有している。		
29		本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) ご家族・利用者様のコミュニケーションの場、又思い出作りにも、と行事等声掛けをしている。		ご家族との外出等により、思い出作りを声掛けし支援している。
30		馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 個別的な場所に関してはご家族の方のご協力を得られるよう声掛けをしている。 ご本人、ご家族とも相談して知人等馴染みのある方や生活環境に関わられた方、趣味を通しての知人等は面会の機会を作り、関係が途切れないようにしている。		
31		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 食事・レクリエーション・体操時、相性の合う方、合わない方の把握をし、個々の持っている能力・持味を發揮できる場面作りをしている。		
32		関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 居宅介護支援事業所からのアドバイスも随時行われており、退居後も気軽に立ち寄ったり電話ができるようにしている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1.一人ひとりの把握					
33	14	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価)		
			散歩時、又入浴時等ゆっくり時間をかけ本人さんの意向等情報を集め把握している。 一人ひとりに寄り添ったケアを心掛けている。		
			(外部評価)		
			職員は、利用者との日頃の会話の中等からご本人の意向を聞き、把握に努めておられる。		さらに、ご本人が意向を表しやすいよう、対話や場面作りの工夫が期待される。又、日々得た情報を職員で共有し、介護計画につなげていけるような取り組み等も期待される。
34		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価)		
			契約・入居時にご家族、本人さんより情報収集を行い、これまでの暮らしの把握に努めている。		
35		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価)		
			全職員が、ユニット内の利用者様の現状把握に努めている。		高齢者なので、ある日突然に心身状況が変化することがあることを認識して、一人ひとりの現状把握を行っている。
2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
36	15	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	(自己評価)		
			毎日の気付きを書くシートをケアプランに連動できるシートに使用し、カンファレンスを今の問題からずれないよう工夫している。 介護計画と日常ケアとを十分経過観察に努めている。		定期的にカンファレンスを実施して現状を理解して、常に利用者様の側に立ったケアを行うよう努力している。
			(外部評価)		
			日頃の会話からご本人の希望を聞き取り、実現に向けてご家族と話し合っておられる。職員の気付き等も採り入れ、介護計画を作成しておられる。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
37	16	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価)		
			3ヵ月毎に評価の見直しをしている。 利用者様、ご家族の意向等、毎月のカンファレンスに反映させている。 状態変化時は、その都度見直しを行っている。		日々気づいた事をその都度シートに記入し毎月カンファレンスを行っている。
			(外部評価)		
			定期的な見直しと状態の変化時に随時見直しておられる。		
38		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価)		
			利用者様一人ひとりの変化や状況を個人別のファイルに具体的に記録している。		ご家族面会時等、様子をお知らせしている。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価)		
			隣接の介護老人保健施設との交流をし、柔軟な支援を行っています。歯科衛生士・作業療法士・理学療法士・健康運動療法士・言語聴覚士・管理栄養士等のアドバイスを受けられる体制であり、よりいっそうの自立支援を行っていきたい。		
			(外部評価)		
			併設の法人施設の大浴場を利用される方もおられる。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
40		地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) 音楽ボランティアの慰問あり。国分駐在所、消防東分署又、民生委員等協力しながら支援している。		
41		他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) 担当ケアマネジャーを通じ、本人さんの意向や必要性に応じて支援を行っている。		
42		地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 地域福祉権利擁護事業や成年後見制度のパンフレットを利用し支援センターの活用を呼びかけている。		ご家族の支援で支えることが出来ている。現在該当者はいないが、必要に応じ支援センターと協働していく。
43	18	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 協力医療機関が整っている。訪問診療を受けている利用者様もいる。緊急時に於いても安心感がある。又、希望されるかかりつけ医療機関でも受診している。 (外部評価) 母体病院の医師が往診に来られた際には、全利用者に声をかけておられる。入居時、かかりつけ医について相談をされている。		
44		認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 協力病院の医師と協議し必要に応じて専門医との連携をとっている。個々の状態に合わせご家族に話し、アドバイスを含め専門医の案内の提案をとっていく。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
45		看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) 訪問看護ステーションと連携を取り、ホームの看護職員とともに日常の健康管理をしている。 又、広瀬クリニック・在宅支援診療所との連携をとっている。 24時間医療連携も可能な支援をしています。		
46		早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 入院加療中も主治医とも連携し早期退院にむけて話し合い、又、退院後の療養計画・ホーム入居復帰についてご家族とも相談し協力している。		
47	19	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) 契約時、ご家族に説明し意向を伺うようにしている。 (外部評価) 入居時に看取りや重度化に対して意向をうかがうようにされている。母体病院の医師やご家族とも話し合い、事業所で看取られた事例もある。ご家族の協力を得て、職員が方針を共有し、取り組まれた。		マニュアルがあり、本人さん・ご家族の意向を十分に伺い「無理強いはいしないで、好きなように過ごさせて欲しい」との要望に協力医療機関等とその都度繰り返し話し合い、全員で方針を共有し看取りを行った。
48		重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) 現在、当ホームは真にグループホームでのケアが必要な利用者様が多く、重度化・終末期はニーズによって関連施設で療養されたい方又、家庭復帰等を考え、かかりつけ医と共に支援を行っている。 重度化の防止は、訪問診療・訪問看護の支援を受け、落ち着いた生活が送れている。		利用者様やご家族のご希望があれば、ターミナルの利用も十分可能であり、今迄も終末期ケアに取り組んだ経験があります。
49		住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 本人さん・ご家族の希望により、外泊を試みながら担当ケアマネージャーと連携をとり、サービスの情報を提供し、在宅復帰された方もいる。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
50	20	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報取り扱いをしていない	(自己評価) 人生の先輩である事を認識した言葉かけや対応に心掛け人格の尊重をし各々プライバシーには「誠意」を持って対応している。又、個人記録等など保管する時は、逆向きに保管し氏名が見えないようにしている。		
			(外部評価) トイレ介助や入浴時等には、特にプライバシーに配慮した対応を心掛けておられた。		
51		利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	(自己評価) 料理作り、レクリエーション等声掛けをし、自己決定にてお願いし自己決定が困難な方には意欲の一端が見えた時その瞬間を大切に支援している。		
52	21	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 食事で十分時間をかけ食べられる方・ゆっくり入浴されたい方等、利用者様のペースに添うよう支援している。		
			(外部評価) 利用者は、事業所内でテレビを見られたり、居間や居室でくつろぐ等されていた。		事業所の理念等も踏まえ、利用者一人ひとりの思いを探り、支援につなげていけるよう、取り組みをすすめていかれてほしい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 月2回理美容の便宜を図っている。又、馴染みの店へご家族と一緒に掛ける事でふれあいの時間が持てるよう支援している。		
54	22	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 毎月食事会・外食等利用者様の要望に応え利用者様と共に準備し、同じテーブルを囲み、会話を楽しみながら食事をしている。 (外部評価) 毎月、食事会の日を設け、利用者の希望を聞き、メニューを決め、利用者とともに食材の買い物、食事作りをされ、利用者とともに食べておられる。又、毎月、外食に出かけておられる。		利用者様の要望に応える食事会・外食等楽しみにされている。
55		本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) お酒・たばこ等好まれる方は、現在おられない。10時と15時にコーヒー等の好みの飲み物を個々に提供している。		
56		気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) 個々の排泄パターンを把握し、トイレでの羞恥心や不安に配慮しながら支援している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
57	23	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価)		
			利用者様の希望に添って個別入浴され一人ひとりのペースに合わせており、満足されている。		隣接する介護老人保健施設への露天風呂への入浴も楽しみにされている方もおられる。
			(外部評価)		
			併設施設の大浴場を利用されている方や、事業所のおふるで仲良しの方同士で入られる方もいる。入浴時間は、利用者と職員のおしゃべり等、楽しい時間となっている。		
58		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価)		
			利用者様の日常の生活リズムを整える事で安眠の支援を行っている。又、居室にて自由に過ごして頂いている。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価)		
			毎日の散歩は日課となっており、食事作りお茶碗拭き等役立つ事に喜びをもち、生き生き毎日過ごされている。		役割が自信に繋がるよう職員はその都度お礼の言葉を一人ひとりに掛けている。
			(外部評価)		
			体操の時間を設けておられる。小学生の下校の時間には、利用者の方数名がホームの外に出て、子供たちを見守っておられる。生け花の先生をされていた方が生花を活けて下さり、玄関や居間に飾っておられた。刺し子で布巾を作り、ご家族や職員にプレゼントされる方もおられる。		
60		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価)		
			個人の管理能力を把握し、本人さん確認にて財布の管理をして頂き、管理の困難な方にも職員と一緒に小遣い帳に記入している。		小遣い帳に毎月、ご家族の確認印(サイン)を頂いている。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
61	25	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価)		
			天気の良い日は花摘み、散歩等により季節を感じて頂き個々の希望に添うよう支援している。		毎月の外食を楽しみにされている。
			(外部評価)		
			事業所周辺を散歩されている。又、季節を楽しみにドライブに出かける機会も作っておられる		利用者個々が行きたい場所や、懐かしい場所等にも出かけてみるような機会を作ってみてはどうだろうか。利用者個々が日常的に地域資源を利用しながら、生活できるような支援も期待される。
62		普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価)		
			兄弟への面会・お墓参り等、ご家族の協力もあり出掛けられている方もいる。		
63		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価)		
			ご本人さん希望時、電話できるよう支援している。又、手紙についても定期的に声掛け等を行って利用者様への支援をしている。		
64		家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価)		
			面会時、家族会等いつでも気軽に訪問できるような雰囲気作りをしている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 転倒の恐れのある利用者様には、見守り、付き添うケアをしている。 全職員が把握しており、拘束をしないケアに取り組んでいる。		
66	26	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 使用に関しては安全確保を優先し、開放時間を随時検討し実行している。 不穏時は職員と一緒に外出し、楽しみを見つけ出すよう支援している。		家族会等でも十分に話し合いをして安全管理と生活での確保の中で十分工夫している。
			(外部評価) 法人では安全を守ることを第一に考えておられ、ご家族とも相談の上、職員の忙しい時間等には、時々ユニット入口のドアに鍵をかけることがある。		鍵をかけることの弊害について、職員で話し合ってみてはどうだろうか。又、鍵をかけずにすむ工夫についても話し合いを重ねていかれることが期待される。
67		利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) 30分毎にさりげなく見守り、プライバシーに配慮しながら所在を確認している。		
68		注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 職員見守りの中、包丁やはさみ等使用しその後所定の場所へ保管されている。		薬は鍵のかかる場所へ保管の徹底がなされている。
69		事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) 随時の勉強会と対応マニュアルがある。緊急時対応マニュアルを作成し、内部研修にて勉強会も行っている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) 緊急時対応マニュアルを作成し徹底。 勉強会も行っている。		
71	27	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 毎月10日を「防災の日」としシュミレーションも行っている。又、年2回の防災訓練を行いマニュアルも作成している。 地域自治会へも協力いただくことを、地域の諸会合の時にお願いしている。 (外部評価) 地区の消防団の方に協力依頼をされている。法人内の施設で連携を図り、いざという時には協力し合えるよう話し合われている。事業所でも利用者とともに避難訓練を行っておられる。		隣接の介護老人保健施設と連携をとり昼夜とも応援・連絡体制をとっている。
72		リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	(自己評価) 入居時に十分に注意を払っているが、転倒等のリスクをご家族にも説明し、理解を得ている。 事故報告書・ヒヤリハットを活用しサービスの改善に努めている。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 日々のバイタルチェックの実施。 観察・治療の必要性・経過観察の見極め・活気・普段との変化に注意を払っている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
74		服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 服薬については最終のチェックの担当を決めており、薬剤師からの処方ファイルを全員把握し、薬の目的・用法・副作用等を理解している。		
75		便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 野菜・食物繊維の多い食事を配慮し、適度の運動を習慣づけている。(散歩等)		便秘気味の利用者様には、朝一番の水分補給・牛乳等飲んで頂いている。
76		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 毎食後、見守り、声掛けにて口腔ケアを実施し、歯科衛生士による口腔ケア指導も行われている。		
77	28	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 個人バイタルチェック表にて把握している。毎月1回の体重測定により、体重の変化に気をつけている。(BMI) (外部評価) 体重が増加傾向にある方は、説明して主食を少し減らすようにされている。夜間は、利用者個々にペットボトルにお茶を用意し、トイレで起きられる際には、職員が声をかけ、水分摂取を促しておられる。		水分補給1日トータル1500ml目標 本人さん・ご家族の希望により管理栄養士にも相談の上、主食・副食少なめにされている利用者様もいる。
78		感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	(自己評価) 玄関に消毒液の設置。マニュアルでの勉強を行う。感染予防の勉強会に参加し、予防・対応している。職員はもちろん利用者様への手洗いの励行を徹底している。 場合によっては来訪者、ご家族へも感染予防についてご協力いただいています。		インフルエンザや腸炎流行時の面会・食品の持ち込み制限等に協力していただいています。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
79		食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	(自己評価) 食器乾燥機使用、布巾は毎晩ハイターにて消毒がなされている。 毎日、新鮮な食材を1日分毎に調達し使い切り、安全管理に努めている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
80		安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	(自己評価) 玄関前にはベンチを設置し、いつでも休憩できるようになっており、季節の花を玄関まわりに植え、楽しんでいる。		
81	29	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 夜間は、利用者様がナースコールが遠慮される為、鈴等も利用して対応している。散歩時、季節の花を摘んで花器に生け観賞されている。 (外部評価) 事業所内には、ご家族の来訪時に談話ができるようなスペースも設けられている。居間にある畳のスペースでは、洗濯物を畳んだりされている。		
82		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) 玄関入口に椅子を配置しており、又、リビング意外にも畳スペースがあり、利用者様同士日光浴をしながら会話をしたり自由に過ごされている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	30	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)		
			入居時に、愛用されている物や使い慣れたものを持ってきて頂いている。 (写真・鉢植え等持ち込みされている)		
			(外部評価)		
			ベッドや収納が事業所で用意されている。馴染みの椅子やご家族の写真、仏壇がある部屋もうかがえた。		利用者が暮らしておられたご自宅の部屋の様子を探る等、さらなるご本人の居心地のよい空間作りに向けて、ご本人とも相談しながら、しつらえの工夫を重ねていかれることが期待される。
84		換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価) 居室・・・7時 11時45分 居間・・・8時30分 12時30分と換気の間、温度設定には気を付けている。 衣服の調節・個人差にも配慮している。		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価)		
			バリアフリーで廊下・トイレ等手すりを設置しており、利用者様の安全を図っている。 室内での物干しは足元が不安定な利用者様には重宝されている。		
86		わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価)		
			個々の役割を見出し、出来る事は行って頂き、出来ない事は寄り添い支援する。		
87		建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんで、活動できるように活かしている	(自己評価)		
			玄関前にはベンチを設置し、散歩時休憩の場としたり季節の花を玄関まわりに植え、水やり等楽しんでいる。		

. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を印で囲むこと)	判断した具体的根拠
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (自己評価) ② 利用者の2/3くらいの 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	利用者様と散歩時等、さり気なく本人さんの訴えを聞くようにしてしている。 利用者様への気づきシートに記入し、職員は情報を共有し対応している。
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (自己評価) ① 毎日ある 2 数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない	リビング以外にも畳スペースがあり、利用者様と一緒に会話を楽しみながら、洗濯物をたたまれたりしている。又、2Fにゆったりとした空間談話室があり、日曜日に1F 2F合同にて喫茶「さざんか」で歓談会を開いている。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	時間をかけ食事を楽しまれる方、ゆっくり入浴されたい方等、利用者様個々のペースで穏やかに過ごされている。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	職員との人間関係は、安心感を得るものとなっている。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (自己評価) ② 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	毎日の散歩は日課となっており、隣接の花壇への花摘みを楽しまれている。 買い物・ドライブ等利用者様の希望も取り入れ、外出の機会をつくっている。 又、ご家族の協力もあり外出されている。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	心身の異常時は、かかりつけの医師・看護師・訪問診療等、協力機関との連携は蜜に取れている。 尚、緊急時は併設の医師・看護師との協力体制が得られている。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (自己評価) ② 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	外出希望時、寄り添い会話を楽しみながら、気分転換を図るよう支援している。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (自己評価) ② 家族の2/3くらいと 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	家族会・面会時等、十分時間をかけ傾聴している。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (自己評価) ② 数日に1回程度 3 たまに 4 ほとんどない	散歩中の近隣の方々との会話、又馴染みの方の来訪により会話が弾んでいる。

項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (自己評価) ② 1 大いに増えている ② 2 少しずつ増えている 3 あまり増えていない 4 全くいない	2 ヶ月に1回の実施をしており、意見交換等することにより少しずつではあるが理解者が増えている。
98	職員は、生き活きと働けている (自己評価) ② 1 ほぼ全ての職員が ② 2 職員の2/3くらいが 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない	利用者様の笑顔をよく引き出すよう、会話を楽しみながら積極的に仕事に取り組んでいる。
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う (自己評価) ② 1 ほぼ全ての利用者が ② 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	利用者様一人ひとり笑顔も多く見られ、外出や外泊等楽しまれている。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う (自己評価) ② 1 ほぼ全ての家族等が ② 2 家族等の2/3くらいが 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	面会時・家族会等に利用者様の近況報告をしている。笑顔が多く見られ、表情が良くなったとの言葉を頂いている。

【特に力を入れている点・アピールしたい点】
 (この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

○利用者様とご家族にとって母体の陽成会の広瀬病院・広瀬クリニックと連携をとり、訪問診療・訪問看護のバックアップが24時間とれる体制を整えて、医療面・安全面での安心感を持っていると考える。

○利用者様一人ひとりの持ち味が発揮できる場面作りをし自信に繋がるケアをしている。

○「ごまかし」のきかない人生の先輩である利用者様から、より多くの笑顔を引き出し、生き活きとした生活が送れるよう支援している。

○職員のケアサービスの質の向上に取り組んでいる。